



Q・MRJ生産拠点の支援策を問う

A・協議して進める

Q 交通に対する取り組みは。

A 理事

町民生活への影響を懸念し関連機関と協議。チャーターバス、ノンストップ便、増便、ダイヤ調整により対応している。

Q 通勤対策について企業との話し合いは。

A 理事

十分に話し合っている。

Q 駐車場の不足は。

A 理事

大幅な増加は難しい。

Q 将来的に鉄道の敷設は。

A 理事

名鉄小牧線を分岐して名古屋空港までの延伸であると思うが、膨大な期間と多大なコストゆえに現時点では実

現性がない。

Q 26年度、三菱関係で転入された数は。

A 経済建設部長

把握していない。26年度の人口は25人増に留まる。

Q 今後の定住等の推定は。企業との話し合いは。

A 経済建設部長

推定件数は調査していない。社宅等の住宅問題については特段聞いていない。

Q 今後予想される児童数の増加は。

A 教育部長

6年後、小学校で115人増。中学校は53人増。要因は、宅地化の進行。

Q 新栄小のリフォームは。

A 教育部長

転入により1、2年後には11クラスになる見込み。特別教室を改修。2クラス増設する。

Q 多目的室増築の進捗状況は。

A 教育部長

27年度予算に工事費を計上した。

Q 企業と「ギブアンドテイク」

で、求められたら代替地を用意して頂き老朽化したスカイプールを移転するなど町の地図が書き換えられるようなことについては。

A 教育部長

正式な話としては聞いていない。

Q・お見合いパーティーを広域で

A・商工会への依頼は考えていない

Q 出合いの機会を、町を超えて広域

で。商工会等に依頼しては。

A 生活福祉部長

商工会は独自に事業展開。依頼は考えていない。



MRJ生産拠点